

令和元年度自己点検・自己評価

東方国際日本語学校
校長 東方 恵子

各項目の評価方法は、5段階評価（5から1）としている。

5:達成されている。

4:ほぼ達成されている。

3:どちらともいえない

2:取り組みを検討中

1:改善が必要

1 教育理念・目標等

1-1 理念・目標は定められているか

段階評価

【 5 】

1-2 学校の特色は何か

【 5 】

1-3 理念に基づく教育が行われているか

【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- | |
|--|
| <p>1-1 「日本語教育を通じて社会に貢献するための人材を育成する」という使命のもと、建学の理念である「グローバル化に対応できる人材の育成」「多文化共生力の育成」「高いコミュニケーション能力の育成」を図るための実践的な教育を行っている。
また、全ての職員が倫理を尊重し「誠実」を持って学生指導にあたり学生、保護者及び社会からの信頼を得ることを学校の組織目標としている。</p> <p>1-2 特色
熊本県には日本語教育機関が5校存在しているものの、4校についてはいずれも一つの学科として日本語科を設けているものであり純然たる日本語学校は本校のみである。このため各国からの留学生に対しては教育のすべてを日本語教育と連動出来るという特色を有している。特に、本校は少数精鋭による徹底した教育メリットを生かし同一レベルでも習熟度に応じた指導を行うなど、生徒が効率よく学べるよう工夫を凝らした指導に努めている。</p> <p>1-3 理念に基づく教育
国際的な視野を持ち国際社会で活躍できる人材の育成を目指し、教育理念と教育目標に基づく指導を推進している。</p> |
|--|

2-1 運営方針は定められているか	【 5 】
2-2 事業計画は定められているか	【 5 】
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	【 5 】
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	【 5 】
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	【 4 】
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	【 5 】
2-7 危機管理体制は整備されているか	【 4 】
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか	【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- | |
|---|
| <p>2-1 運営方針は、毎月開催する全体会議の中で検討し次年度の方針を決定している。</p> <p>2-2 事業計画についても全体会議で検討し予算と共に決定している。</p> <p>2-3 本校は昨年4月開校したばかりの新規校であるため職員数は少数であるが校長を長とした運営組織や意思決定機能を確立している。また、運営が効率的に機能するよう職員全体会議や非常勤も含めた教務会議等を開催しそれぞれの角度から目標達成に向けて取り組んでいる。</p> <p>2-4 個々の職員がそれぞれの目標を設定し、自己評価及び校長による評価を経て人事や処遇の改善、職場環境の改善を図ることとしている。</p> <p>2-5 職員の勤務時間の管理を徹底し、また、職務分掌の見える化を徹底し無駄のない効率の良い業務運営を目指すこととしている。また、学生情報の一元管理を図ることにより、学生にきめ細やかな指導・支援ができるようにするなど、業務の効率化を積極的に推進している。</p> <p>2-6 学校運営を維持・向上させるため、逐次全体会議を行い業務の進捗状況と問題点・対策を議論し運営方針や事業計画の実現に向けた意思確認を行うなど、効率的運営に向けた体制を整えている。</p> <p>2-7 危機管理体制確立の一環として職員及び学生の連絡系統表を作成するとともに、年2回入学のタイミングに合わせ学生の安全確保を目的とした警察署員による犯罪等防止講和を実施している。また、大規模災害(震災、台風等)に備え、定期的に避難訓練を実施することとしている。</p> <p>2-8 学校教育法及び日本語教育機関のガイドラインを遵守した施設・設備の整備に努めている。</p> |
|---|

3 教育活動

- 3-1 カリキュラムは体系的に編成されているか 【 5 】
- 3-2 教育機関として授業評価・評価体制・学生が到達すべき日本語能力の目標は明示されているか 【 5 】
- 3-3 成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか 適切に運用されているか 【 5 】
- 3-4 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか 【 5 】
- 3-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 3-1 入学年度ごとのクラス分けを基準に学習到達レベルも勘案したクラス編成を行うとともに、日本語入門から中上級レベルまでの体系的なカリキュラムの編成に努めている。
- 3-2 校長や主任教員が教員の授業力評価を行うなど評価体制は確立されている。また、学生が到達すべき日本語能力の目標については、入学時及び各種試験結果に応じて目標設定の見直しを行っている。
- 3-3 成績評価は試験結果、出席状況、授業態度等を総合的に勘案し適切に行っている。また、進級・修了の判定基準は成績評価を基に適切に運用している。
- 3-4 各クラス担任が個々の学生のレベルと目標を把握しその目標達成に向けた授業を行うなど、各教員の資質は十分備わっている。
- 3-5 各種試験対策については個々のレベルに応じた試験対策を実施しており、認定率向上のための組織的指導体制を確立している。

4 学修成果

- 4-1 学生の日本語能力の向上が図られているか 【 5 】
- 4-2 学生の進路を適切に把握しているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 4-1 学生の日本語能力については、各種の試験実施後に個人面談を行い勉強方法の改善指導を行うなど能力向上に努めている。
- 4-2 学生の進路目標と現状に応じた進路指導を行うなど適切に対応している。
なお、本校は令和元年10月生が1期生であるため能力試験、留学試験等外部試験の受験実績はないが、今後は積極的に挑戦するよう指導している。

5 生徒支援

- 5-1 学生支援計画を策定し、学生に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか 【 5 】
- 5-2 生活面における健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか 【 5 】
- 5-3 防災や緊急時における体制が整備されているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 5-1 教務担当者が学生個々の進路希望を把握し希望に沿った進路指導を行っている。また、生活指導担当者が随時学生と個別面接を行いアルバイトや生活の現状把握に努めている。なお、把握した事案についてはすべての職員が情報の共有に努めるなど支援体制は整備されている。
- 5-2 新入生については入学後早期に指定の病院で健康診断を行っている。
昨年12月に発生し現在も感染が続いている新型コロナウイルスへの対応として手洗い、うがい、マスク着用を徹底させるとともに、当分の間、人の集まる場所への出入りを制限するなど指導を徹底している。
このほか、生活指導担当者と教務係連携により生活指導を徹底するなど支援体制は整備されている。
- 5-3 緊急時には学校及び職員へ即時連絡ができるよう緊急連絡網を配布するなど学生の生活面へのフォロー体制を確立している。
また、学生の安全確保のため年2回管轄警察署員による防犯指導を行うとともに、今後は防災に関する消防署員による防災指導を予定している。

6 教育環境

- 6-1 校地及び校舎が十分かつ安全に整備されているか 【 5 】
- 6-2 授業が可能な教材や設備、教育用機器が整備されているか 【 4 】
- 6-3 学習効率を図るための環境整備がなされているか 【 5 】
- 6-4 施設・設備
- 6-4-1 教室、その他の施設は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか 【 5 】
- 6-4-2 教室内の照度と換気は十分か、また遮音性は確保されているか 【 5 】
- 6-4-3 授業時間外に自習できる部屋が確保されているか 【 5 】
- 6-4-4 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか 【 5 】
- 6-4-5 視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されているか 【 4 】

- 6-4-6 教員及び職員の執務に必要なスペースが確保されているか 【 5 】
- 6-4-7 廊下、階段等は、緊急時に危険のない状態であるか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 6-1 学校施設は開校前の2018年3月、全館改修し学生の受け入れに支障ないよう整備した。
- 6-2 教材は学生のレベルに合わせた学習しやすい教材を選定している。また、各種の教育機器については、必要度の高いものから整備していくこととしている。
- 6-3 学習効率を図るため、現在の学生数に適した教室を使用するなど行き届く授業に努めている。また、未使用教室（3教室、図書室等）を活用した自習スペースを確保し、学生が授業後も学校で勉強できる環境を整備している。
- 6-4 施設・設備は日本語教育機関の運営に関する基準又ガイドラインに適用し、必要なものを確保している。なお、視聴覚教材の充実を図るため、機材選定について検討中。

7 入学者の募集 段階評価

- 7-1 学生の募集は適切に行われているか 【 5 】
- 7-2 日本語教育機関の情報は正確に伝えられているか 【 4 】
- 7-3 授業料等は適切か 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 7-1 学生募集については、本校の教育目標に照らし、日本語学習の目的や日本語学習意欲において問題のない学生を受け入れるという方針を定めており、その方針に沿って問題のない学生を受け入れている。
学生の選考にあたってはSkypeを用いた面接や派遣先学校の責任者等と連絡を密にするなどにより厳密な選考を行っている。
なお、今後は現地に赴いての直接面接を行うこととしている。
- 7-2 募集要項やパンフレットについては現在の状況を正確に記載し派遣先の学校に適宜送付している。
また、ホームページについては、開校後1年未満であり、進学や課外活動等の実績が殆どないため、実績が記載できる時点で改正をすることとしている。
- 7-3 授業料、入学金等の納付金については適正に設定している。

8 財務

- 8-1 財務状況は、中長期的 に安定しているか 【 5 】
- 8-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか。 【 5 】
- 8-3 財務について適正な会計監査が実施されているか 【 4 】
- 8-4 財務情報の公開の体制はできているか 【 2 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 8-1 学校運営の基盤は財務であるが学生の増減により大きく変動する。本校は新規校として2019年10月生より受け入れを開始したが1期生5人と少数であったものの経営基盤は安定しており問題はない。
- 8-2 学生数の安定を図るため信頼のおける留学生送り出し機関を選別し留学生の増員を図ることとしている。今後、特に認定率の高い中国、マレーシア、タイを中心に事業計画を策定し収支の安定を図ることとしている。
- 8-3 会計監査は税理士により定期的に行うこととしている。
- 8-4 財務状況の公開については今後検討する。

9 法令遵守

- 9-1 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営なされているか 【 5 】
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 【 4 】
- 9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 【 4 】
- 9-4 自己点検・自己評価を公開しているか 【 5 】
- 9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 9-1 本校は法務省の法令、設置基準を満たした告示校と認定されており、基準等を遵守した運営に努めている。
- 9-2 業務で利用するパソコンについては、ウイルス対策を定期的に行うなど情報の保護に努めている。また、個人情報保護に関して教職員による検討会などを行い個人情報保護の周知徹底を図っている。
- 9-3 今回初めて自己点検・自己評価を行ったので、今回の評価をもとに問題点の把握・改善に努めることとしている。
- 9-4 自己点検・自己評価の公開をしている。
- 9-5 報告時期にあわせて遅滞なく実施することとしている。

10 地域貢献・社会貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 【 5 】

10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか 【 2 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

10-1 本校は2000年、県内唯一の中国語専門学校「東方中国語学院」として開校以来多くの受講生が学び、600名以上の中国語検定試験合格者を輩出している。また、熊本県警察の警察官や各種企業の社員に対し中国語語学研修を行うなど施設や資源を活用した社会貢献を行っている。これからも継続的に取り込んでいく。

10-2 日本語学校として開校後は間もないため、地域との交流・公共施設の清掃等ボランティア活動については今後の課題として支援計画中である。

〈総括〉

本校は2019年10月「東方国際日本語学校」として第1期生を迎え入れた。今後学生人数を安定して確保できる体制を強化し、今までの課題の改善に努め強固な組織を作っていく所存である。

また、今後学生の声を聞き取り、アンケートなどを行うことにより、学生の声を反映した取り組みも推進していく。

自己点検・自己評価

日本語教育機関名：東方国際日本語学校

点検・評価実施日：2020年3月27日

実施責任者（役職）：東方 恵子（校長）